

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-25 □支援部門		高齢者施設整備事業				
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	高齢者施設の開設準備経費を助成する。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	34,615千円	2,400千円	0千円			
	(国・県)	14,615千円	2,400千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	20,000千円	0千円	0千円			
	人員配置数	0.3人	0.1人	0.0人			
	人件費(千円)	2,669千円	936千円	0千円			
事務事業運営経費	協働のパートナー	無		無		無	
	総事業費(千円)	37,284千円	3,336千円	0千円			
	市民1人当りの経費(円)	210円	19円	0円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)	139,000円					
	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
施設開設準備経費助成	○	目標値	0%	40%			
		実績値	100%	100%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
高齢者施設整備事業	34,615千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A ■B □C □D □E
	事業の概要	特別養護老人ホームの整備や認知症高齢者グループホームのスプリンクラー整備を助成する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	特別養護老人ホームの整備を安定的に進めるため、整備状況に応じて補助金を交付する。			
課題解決のための取組	施設整備進捗状況を確認し、施設整備費補助金を交付した。			
未解決の課題	特別養護老人ホームを開設する。			
今後の方針	計画どおり施設整備を行い、特別養護老人ホームを開設するよう指導・助言等を行う。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了 課長名 高齢者いきいき課長 筒谷 正明

